

事業計画書(記載例)

<p>団 体 名</p>	<p>NPO法人小松島地域共生</p>	
<p>事 業 名</p>	<p>小松島市地域共生社会実現事業</p>	
<p>事 業 の 概 要</p>	<p>内容・実施方法等</p>	<p>(計画している活動内容、実施における人員体制、事業により得られる効果などをご記入ください。)</p> <p>(ア)●●校区の自治会、老人クラブ、民生委員等を委員とした協議会を設置するとともに、地域住民が様々な課題を我が事として考えるためのワークショップを3回開催する。 ワークショップの内容は以下の通り。 1回目:地域共生社会とは何かをテーマに講師を招いて開催 2回目:わがまちの地域資源や課題は何かをテーマにグループワークを実施し、住民間で共有する 3回目:2回目で出た資源や課題をどのように地域として活用・解決できるかを検討</p> <p>(イ)空き店舗を活用して地域の相談窓口を設置する。 相談窓口は週5日午前10時から午後3時まで開設し、相談員を1名配置するとともに、社会福祉士とアドバイザー契約を結び、相談内容について助言をもらい、課題解決を図り、地域で解決できない場合には、関係機関へつなぐこととする。 また、相談者の同意をもらった場合には、小松島市社会福祉協議会や小松島市地域包括支援センター、相談支援事業所など関係機関と情報を共有して課題解決に向けて取り組んでいく。</p> <p>(ウ)(エ)通いの場の創設 (イ)の施設を活用し、定期的には子供から高齢者までが通える運動教室や習字教室を開催し、様々な世代が通える場とし、その場でも相談にも乗れる体制を整える。 ※(ア)～(エ)は募集要項のP4～5に対応しています。 詳細は別紙企画書参照</p>
	<p>成果目標</p>	<p>【ワークショップ】 開催回数:3回 参加者数:30人 【相談窓口】 相談件数:15件</p>
	<p>主 動 場 所</p>	<p>活動場所名:●●校区みんなの広場 住所:小松島市横須町11-7</p>
	<p>安全性や緊急時の対応</p>	<p>施設を住民が利用する際には、必ず本法人担当者が施設内にいるようにし、緊急時にも、事業責任者とすぐに連絡が取れる体制をとり、対応する。また、事故発生時に備えて保険にも加入する。</p>

様式第1号の2

	時期	実施内容
<p>初年度 スケジュール</p>	10月	<p>空き店舗改修工事 協議会設立 第1回住民ワークショップ開催</p>
	11月	<p>第1回協議会開催 先進地への視察実施(●●市)</p>
	12月	<p>第2回住民ワークショップ開催</p>
	1月	<p>相談窓口開設 ワークショップ等で上がった地域課題等の整理</p>
	2月	<p>各種教室開始 第3回住民ワークショップ開催</p>
	3月	<p>第2回協議会開催(今年度の課題、来年度の計画等について) その他、相談内容に合わせて、適宜関係機関を集めた会議を開催し、情報の共有及び連携体制の強化を図る。</p>
	<p>翌年度以降の計画</p>	<p>2年目</p>
<p>引き続き、住民ワークショップを実施し、地域の協力者を増やしていく。また、ニーズ調査等を実施し、その結果を受けて、教室の実施や相談窓口の体制などを柔軟に変更していく。</p>		
<p>3年目</p>		
<p>これまでの事業を継続しながら、4年目以降の自主財源について検討する。</p>		
<p>4年目以降(補助金交付終了後)</p>		
<p>(市からの補助金なしでどのように実施していくか、活動資金の確保方法など) 住民への普及啓発やワークショップ、相談窓口、各種教室については補助期間終了後も継続していく。 また、自主財源について、具体的には3年目で協議をするが、計画では各種教室での利用料や協賛者を募る予定としている。</p>		